

第12回新潟市大規模小売店舗立地審議会 議事録

開催日時：平成21年7月13日（月） 午後2時から午後3時30分

開催場所：市役所第2分館4階 2-401会議室

出席者：相澤委員、五十嵐委員、岩瀬委員、清水委員、白井委員、田中委員、安田委員

（以上7名 出席）

審議議題：（仮称）チャレンジャー新潟中央インターSC 新設届出について【2回目】

審議内容：

（事務局から、当案件に対する第1回目の審議（H21.6.15）で出された意見、および、それをふまえて実施した現地調査（H21.6.23）の概要を報告し、その後審議を行った。）

委員 現地調査の概要だが、まず、交通面について、（地元の意見を受け、住宅地の方へ来客を誘導しないよう来店・退店経路が変更されたことについて）南側の県道から迂回する経路も示されたが、現地を見たうえで、いずれへも積極的な誘導を行わないということで、自然の流れに任せる、来店者が選択するという考えでよいと思う。

景観面について、景観上の配慮から、施設周辺にはなるべく高木を配置したいとの意見があったが、現地をみて、緑地帯の幅も狭く、高木が根を張れないだろうということを確認した。

委員 例えばイベント時の渋滞の拡大といった、地域の方が心配する事態は起こりそうか。

委員 設置者側で、地元の意見に対応して、また、出店前の状況を考慮して交通計画を検討されている。今回の出店が無くても、既にイベント時の渋滞は起きているから、来客者がそれを避けてくるだろうと考えてよいのではないか。

委員 環境面への配慮、特にCO2の排出量抑制について、設置者から「オール電化を進める」ことで対応するとあるが、なぜ、これが排出量抑制につながるのか。

事務局 現地において直接的な排出量を抑えることと解している。

委員 電気とガスのどちらを使用するほうが排出量を抑えられるかは、使用する設備によっても変わってくる。環境面へ配慮しているということの一つの表現としてとらえればよいのではないか。

委員 「オール電化を進める」ことで（環境への配慮として）全てOKということにはならないが、他の面でも、設置者ができることをすべきという指摘と受け止めてもらいたい。

委員

北側に建設中の老人ホームに影響する騒音予測が追加されたが、予測結果のみで計算方法は示されておらず、「影響がない」としているだけである。計算を疑うことはないが、(苦情等)何かあれば、設置者が誠実に対応されるものと考えたい。

(最後に事務局から当案件に対する市の意見について、「意見なし」とすることを諮問したところ、全委員異議がなかったため、市の諮問を妥当する旨答申することとし、会議を終了した。)

以上